

「よく迷子になる」と思ったら？



なぜなの？

- ・目からの情報が入りやすく、興味があるものが見えると他のものが目に入らなくなりやすいので、自分の興味のあるものへ一直線で行ってしまう。(対応方法①②③)
- ・衝動性が高いため、間が持ちにくい。(対応方法④⑤⑥)

※迷子になりやすい年齢：2～5歳

※迷子になりやすい場所：ショッピングセンター、遊園地、スーパー
(こどもにとって誘惑のたくさんあるところ)

いろいろなことに興味いっぱい！
好奇心旺盛で発見する力を持っていますね！



どうしたらいい？(対応方法)

- ①ルールを決め、子どもが突然知らない人に行くなどの行動を事前に防ごう。
(例：「ここではお母さんと手をつなごうね」)
- ②がまんをすれば楽しいことがあるという見通しを伝えよう。
(例：スーパーの地図を見せながらルートを伝え、最後にこどもの楽しみの場所へ行く。)
- ③途中でお手伝い等の役割を与え、できたら「ありがとう」を伝えよう。
- ④「どっちがいい？」のような選択ができるような声かけや「どうしたらいい？」のような考える時間を持たせるような声かけをして、間を持たせよう。
- ⑤大好きな大人と楽しい遊びをたっぷりしよう。(相手にもっとしてほしい期待する気持ちが増え、待つ力が育ちます。)
- ⑥衝動性が高いと、思わず手がでてしまい、失敗体験や怒られる事が多く、自信を失いがち。がんばっていることやできていることを認め、自信を増やそう。



困ったり迷ったりしたら、いつでも相談してくださいね。

三原市こども安心課 電話0848-67-6061

本郷保健福祉センター 電話0848-86-3609

久井保健福祉センター 電話0847-32-8551

大和保健福祉センター 電話0847-34-0960